

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング 31724000

Stoko（ストコ）

【警告】

1. 適用対象（患者）
次の患者には慎重に適用すること
- 1) 急性期の深部静脈血栓症の患者 [肺血栓塞栓症を発症する恐れがある]
 - 2) 動脈血行障害、うっ血性心不全の患者、下肢に炎症性疾患、化膿性疾患、急性創傷のある患者 [圧迫により症状を悪化させる恐れがある]
 - 3) 急性循環不全等、末梢循環が不安定な患者 [血流量低下により壊死が起こる可能性がある]
 - 4) 糖尿病患者 [血行障害や神経障害が発症する恐れがある]
 - 5) 下肢表在静脈の血栓性静脈炎の患者 [症状を悪化させ、肺血栓塞栓症を発症する恐れがある]
 - 6) 皮膚の感染症、開放創、皮膚炎、潰瘍がある患者 [皮膚圧迫により、症状を悪化させる恐れがある]
 - 7) 肢肢に知覚・神経障害がある患者 [合併症の早期発見が遅れる可能性がある]
 - 8) ストッキング素材に対する過敏症がある患者 [ポリエステル、ポリウレタン及びナイロンの皮膚アレルギーを誘発する恐れがある]
2. 使用方法
- 1) サイズ表を確認し、正しいサイズの製品を着用すること [正しいサイズ及び圧迫力の選定が出来ないと、各部位に過剰及び過小な着圧がかかることになり、本品の効果が発揮されない恐れがある]
 - 2) 重ね履きを行う場合は、医師がその必要性を判断して行うこと [適切な圧迫力が得られない可能性がある]

【禁忌・禁止】

- 適用対象（患者）
次の患者には適用しないこと
- 1) 重度の動脈血行障害及びうっ血性心不全、皮膚移植後、壊死・壊疽、重度の浮腫、皮膚の化膿性疾患のある患者 [症状を悪化させる恐れがある]
 - 2) 極度の脚変形を有する患者 [標準的な体型に基づく製品設計をしている為、過剰及び過小な圧迫力がかかる可能性がある]
 - 3) 足首周径が 15cm 未満、或いは 27cm を超える患者 [過剰及び過小な圧迫力が足首にかかる可能性がある]
 - 4) 着用に関して患者の協力が得られないと思われる場合 [正しい着用指示が出来ない恐れがある]
 - 5) 医師が本品を使用することが適切でないと判断した場合 [使用上の有益性が危険性を上回る場合にのみ適用すること]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造
本品は、足首から腰までのダイヤル付き着圧タイツで、円柱状の形状である。
タイツ内に高強度のケーブル（糸）が内蔵されており、足首から腰部の装着部にまで編み上げられたケーブルを背面の左右に付いているダイヤルをプッシュして回すとケーブルが脚への圧力をかけ、反対にダイヤルを引くと圧力を緩めることができます。
膝の安定化、サポート、保護を目的とした構造にもなっている。
サイズは男性用として S, M, L, XL、女性用として XS, S, M, L, XL の計 9 種類がある。
2. 原理
足首から腰まで網羅された一体型のケーブルで脚へ着圧することにより、血流量を増加させ、疲労回復を促進させる。

【使用目的又は効果】

下肢の静動血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキングです。末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有し、脚のむくみを改善、血行の促進、リンパ液の流れを改善します。

【使用方法等】

- 1) 装着前（サイズ選定）
- ① サイズチャートを参考に適切なサイズを選択してください。
 - ② 本品のダイヤルを摘み、そのまま引き出してウエスト部分を手で伸ばし、ケーブル部分を緩めます。
- 2) 装着時
- ① 座った状態で裾の位置を足首の上に合わせます。
 - ② 網目模様（X の形）をすねの真ん中の位置まで引き上げます。一番薄いグレーのラミネートの部分が膝を曲げた時の位置と平行になるように調整します。
 - ③ 立ち上がり、ウエストバンドを腰の上まで引き上げます。
 - ④ ダイヤルを押し込んで回転させます。ケーブルがダイヤルに巻かれ、徐々に腰への圧力がかかります。
 - ⑤ ウエストバンドを手で伸ばし、ケーブルも直接手で引いて全体の着圧を調整します。
- 3) 装着後（装着中）の確認
- ① つま先から皮膚障害や血流障害が無いことを適宜確認する。
 - ② かかかたが正しい位置にあるかどうかを適宜確認し、必要に応じて修正を行う。
 - ③ たるみやシワがないことを確認し、必要に応じて適宜修正を行う。
- 4) 着脱方法
ダイヤルを引いて、ウエストバンドを緩め、腰から少しずつウェアを下げます。

【使用上の注意】

- (1) 術後等患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には、患者の状態をよく観察して使用すること。
- (2) 下腿潰瘍、下肢硬化療法術後等に使用する場合には、患部または刺入部等が直接本品に接触しないよう処置すること。
- (3) ギブス、外傷等による長時間の下肢可動不能状態の患者には慎重に使用すること。
- (4) 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、装着部位の皮膚温の低下、かゆみ、湿疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。

【保管方法及び有効期間等】

- ・ 火気のそばや高温多湿や直射日光を避け、水漏れに注意し、清潔な場所で保管してください。
- ・ 製品の変形を防ぐために、ねじれた状態での使用や保管はしないでください。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 洗濯をする場合、熱湯、塩素系漂白剤、消毒剤、アイロン、乾燥機、ドライクリーニングの使用は、繊維を劣化させる恐れがあるので、使用しないこと。
- 2) めるま湯に洗剤を溶かし手洗いすること。
- 3) 直射日光を避け、陰干しにすること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
アドバンスジャパン株式会社
埼玉県川口市大字東本郷 118-1
電話番号 048-234-8291